

美術ヴァギナ Bijyutsu VAGINA

「美術ヴァギナ /Bijyutsu VAGINA」展を開催します。

男性器をテーマにした展覧会「美術ペニス」の対となる「美術ヴァギナ」を開催します。

「ワイセツと表現の線引きもなされないまま、年々高まる性表現に対する規制 / 自主規制は何をもたらすのでしょうか？」という2013年「美術ペニス」展の危機感、SNS時代特有の相互監視社会の影響もあり、さらに倍になったように思えます。

2020年7月に最高裁の判決を通して「女性器=ワイセツ」というレベルであることを暴いてみせたりくでなし子の【問題】の新作、アニミズム的、スピリチュアル的な感性で毛を用いた彫刻の荒川朋子、受精の瞬間の発光現象を金を用いて表現、探究し続ける山里奈津実、サンバダンサーの陰毛処理の為というブラジリアンワックスの原点をアートに開花させようとする宮川ひかる（*ワークショップあり）、隠語遊びや隠蔽されてきた女性器の表象を扱う企画者の岡本光博の5名による展覧会です。

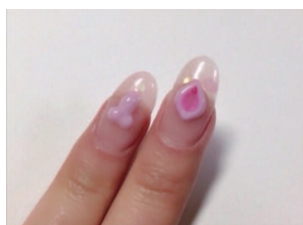
男根や夫婦岩を祀り、陰陽石を嗜んできた文化的感性をわずかでも覚醒させることができれば幸いです。
(KUNST ARZT 岡本光博)



荒川朋子
ARAKAWA Tomoko
おもいし
2014



岡本光博
OKAMOTO Mitsuhiro
SIX-SEX
2014



宮川ひかる
MIYAKAWA Hikaru
ちんまん♡ネイル



山里奈津実
YAMASATO Natsumi
Patterns
2018



ろくでなし子
ROKUDENASHIKO
MANKO-dm
2020

2021年4月23日から5月9日
12:00 から 18:00 月曜日休み

会 場 : KUNST ARZT
605-0033 京都東山区三条神宮道北東角 2F

< 関連イベント >

宮川ひかるさんによるブラジリアンワックスによる陰毛処理、
それを使い「花」（後日お渡し）を造形予定です。
完全予約制です。詳細は後日 HP にて。